

環境調和型プロセス技術の開発事業

令和2年度概算要求額 **45.0億円 (40.0億円)**

事業の内容

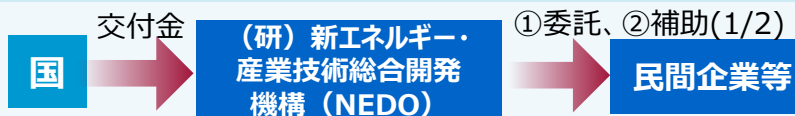
事業目的・概要

- 「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」等に基づき、中長期的な観点から鉄鋼業の生産プロセスにおける大幅なCO₂排出削減技術、省エネルギー技術の開発を行います。
- 世界に先駆けたCO₂排出削減技術として、コークス製造時に発生する副生ガスに含まれる水素を増幅し、一部コークスの代替として当該水素を用いて鉄鉱石を還元する技術等の開発を行います（①水素還元等プロセス技術の開発事業（COURSE50））。
- 世界に先駆けた省エネルギー技術として、低品位の石炭と低品位の鉄鉱石の混合成型・乾留により生成されるフェロコークス中に含まれる金属鉄を触媒とし、高炉内の鉄鉱石の還元を低温化・高効率化する技術の開発を行います（②フェロコークス技術の開発事業）。

成果目標

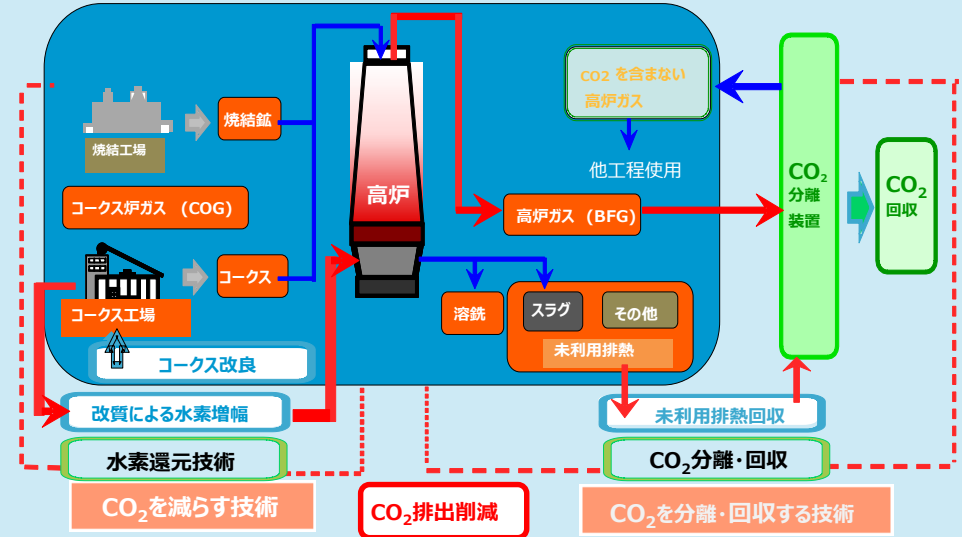
- 水素還元等プロセス技術の開発事業（COURSE50）は、令和12年頃に実機（1基）において、製鉄所のCO₂排出量を約3割削減する技術の確立を目指します。また、フェロコークス技術の開発事業は、令和4年頃までに実機（1基）において、生産プロセスのエネルギー消費量の約10%削減する技術の確立を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

① 水素還元等プロセス技術の開発事業 (COURSE50)



② フェロコークス技術の開発事業

